



平成 16 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社有線ブロードネットワークス
代 表 者 名 代表取締役社長 宇野康秀
(コード番号：4842 ヘラクレス)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 佐藤英志
電 話 番 号 (0 3 3 5 0 9 7 1 0 5)

株式会社ギャガ・コミュニケーションズの株式の取得（子会社化）及び新株予約権の取得に 関する基本合意のお知らせ

当社は、本日、株式会社ギャガ・コミュニケーションズが実施する第三者割当増資による普通株式 38,461 千株を取得し、子会社化すること及び新株予約権を取得することについて同社と基本合意に至りましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 株式の取得の理由

株式会社ギャガ・コミュニケーションズとの資本提携とそれに伴う協業により、当社のブロードバンド事業、カラオケ事業等におけるコンテンツ面での優位性が確立されます。これにより当社が今後の戦略として掲げる「優良コンテンツをあらゆる顧客に対して、いつでも、どこでも提供する」コンテンツ・プラットフォーム戦略を実現する上で同社が重要な事業パートナーとなります。このような観点より、今回当社は同社による第三者割当増資を引受けること及び新株予約権を取得することについて基本合意しました。

2 異動する子会社（株式会社ギャガ・コミュニケーションズ）の概要

- | | |
|-------------------|--|
| (1) 商 号 | 株式会社ギャガ・コミュニケーションズ |
| (2) 代 表 者 | 代表取締役社長 丸茂 日穂 |
| (3) 所 在 地 | 東京都港区六本木三丁目 16 番 35 号 |
| (4) 設 立 年 月 日 | 昭和 61 年 1 月 28 日 |
| (5) 主 な 事 業 の 内 容 | 海外映像コンテンツの日本国内における映像使用权の買付け、映像コンテンツの配給、ビデオ著作権およびテレビ著作権のライセンス |
| (6) 決 算 期 | 9 月 |
| (7) 従 業 員 数 | 131 名(平成 16 年 9 月末日現在) |
| (8) 主 な 事 業 所 | 東京都港区六本木三丁目 16 番 35 号 |
| (9) 資 本 の 額 | 54 億 3,696 万円 (平成 16 年 9 月末日現在) |
| (10) 発行済株式総数 | 16,831,852 株 (平成 16 年 9 月末日現在) |



(11) 大株主構成及び所有割合

1.	中村 雅哉	3,300,200 株	19.61%
2.	オンキヨー（株）	3,200,000 株	19.01%
3.	マスダアンドパートナーズ（株）	1,785,600 株	10.61%

(12) 最近事業年度における業績の動向

	平成 14 年 9 月期		平成 15 年 9 月期	
	単体	連結	単体	連結
売上高	21,350 百万円	23,397 百万円	16,569 百万円	19,229 百万円
営業利益	1,403 百万円	1,383 百万円	6,305 百万円	6,114 百万円
経常利益	1,211 百万円	1,133 百万円	7,831 百万円	7,659 百万円
当期純利益	682 百万円	638 百万円	8,044 百万円	7,941 百万円
総資産	44,268 百万円	44,440 百万円	33,287 百万円	33,843 百万円
株主資本	9,491 百万円	9,176 百万円	1,379 百万円	1,167 百万円
1 株当たり 配当金	7 円 銭		円 銭	

3 取得株式数，取得金額及び取得前後の所有株式数の状況

- (1) 異動前の所有株式数 株 (所有割合 %)
- (2) 取得株式数 38,461 千株 (取得金額 10,000 百万円)
- (3) 異動後の所有株式数 38,461 千株 (所有割合 57.6%)
- (4) 1 株当りの取得価額 260 円

上記に合わせ、当社は株式会社ギャガ・コミュニケーションズが発行する新株予約権の付与を下記の条件にて受けます。

- (1) 株式の種類及び数 普通株式 1 株
- (2) 新株予約権の取得数 13,563 千個
- (3) 発行価額 無償
- (4) 発行日 平成 17 年 1 月上旬 (予定)
- (5) 1 株当りの払込金額 260 円

(注 1) 新株予約権の取得は、第一回増資及び第二回増資引受けの効力発生を条件といたします。

(注 2) 株式取得価額の決定方法：

当社は、第三者機関である株式会社エスネットワークス（以下、エスネットワークス）に対し株式会社ギャガ・コミュニケーションズ株式の株式価値の評価を依頼し、エスネットワークスの株式価値算定結果を参考として、市場動向、資産内容、事業収益性、第三者割当の発行元のもたらすシナジー等の要素を総合的に勘案して、最終的な取得価額を決定いたしました。



4 日程

平成 16 年 10 月 25 日	当社及び株式会社ギャガ・コミュニケーションズにて基本合意契約の締結を決議
平成 16 年 11 月中旬	第三者割当増資及び新株予約権に関する最終合意契約締結（予定）
平成 16 年 12 月中旬	株式会社ギャガ・コミュニケーションズ定時株主総会で承認決議（予定）
平成 16 年 12 月下旬	第一回第三者割当増資払込期日（予定）
平成 17 年 1 月上旬	第二回第三者割当増資払込期日（予定）
平成 17 年 1 月上旬	新株予約権の取得（予定）

5 今後の見通し

当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

6 異動する子会社（株式会社ギャガ・コミュニケーションズ）の業績見通し

株式会社ギャガ・コミュニケーションズ（以下G A G A）においては抜本的な経営改革を達成すべく新たな事業再生計画を策定し、当社においてもその計画を確認し、当社業績に対してもプラスであると総合的に判断しました。G A G Aはその事業再生計画においてまず、会計方針の変更として、映像作品の買付コストの償却方法を従来の「2年定率法」から「権利毎の一括償却法」に変更します。これにより各作品毎の収益と費用の関係が明確になり作品毎の利益管理手法が簡素化され、利益を意識した適正規模での経営が可能になります。また、過去に発生したコストを平成16年度9月期に一括償却し、従来、発生予定コストを吸収するために行っていた多数の買付を見直し、買付本数の削減による収益性の回復をはかります。これに加え、G A G Aは当社グループでのシナジーを活用し、両社にて新たな収益源を開拓していきます。具体的にはエイベックス・グループ・ホールディングス株式会社におけるビデオ・DVD等の販売機能を活用した事業の確立、当社の光ファイバブロードバンドサービス「BROAD-GATE 01」やコンテンツ配信ポータル「ShowTime」における映画配信、グループ会社B M Bのカラオケ店舗での映画興行などが可能となります。事業再生計画によるG A G Aの業績見通しは下記を御参照下さい。

	平成 17 年 9 月期	平成 18 年 9 月期	平成 19 年 9 月期
連結売上高	22,397 百万円	21,969 百万円	21,884 百万円
連結営業利益	1,130 百万円	1,750 百万円	2,458 百万円
連結経常利益	400 百万円	1,256 百万円	2,004 百万円

以 上